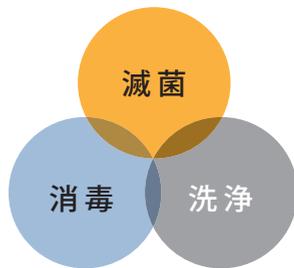


滅菌・消毒・洗浄とは？

違いはご存知ですか？

器具の処理を行うためには
これらの違いを認識する必要があります。



○ 滅菌・消毒・洗浄の定義

滅菌	全ての微生物を滅殺または除去すること。
消毒	対象物から多数の微生物除去を行うこと、 または人体に有害な微生物の感染力を害のないレベルまで減らすこと。 ※必ずしもすべての微生物の殺滅ではありません。
洗浄	埃や汚れ、体液、有機物などをきれいに除去すること。

これからの歯科医療に必要な感染対策とは…

〈ハイジーンの必要条件〉

スタンダード・プリコーション

全ての患者さんが感染の可能性があるとみなし予防策を施す

全歯科医院の基準とすべき



自動メンテナンス機器

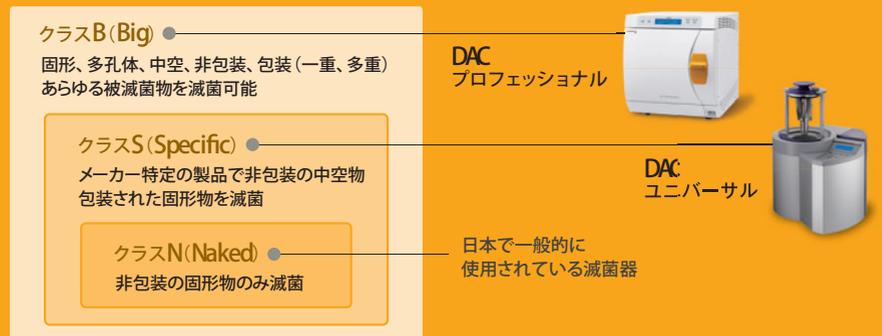
- 手洗浄の限界を改善
- ヒューマンエラーを失くす

○ 普遍的な予防措置

- 「全ての患者さんが潜在的に感染性を持つ」という普遍的な感染コントロールのポリシーは、全歯科医院の基準とすべきである。(International Dental Journal 1993 Dec; 43(6), 578-84)
- インstrumentによる大部分の感染は、Instrumentの不十分なクリーニングと消毒に原因がある。管理とメンテナンスが行き届いている限り、Instrumentの自動メンテナンス機器は最も安全で信頼のおける手段である。(British Journal of Theatre Nursing 1994, Jan; 3(10):12-4, 27-9)

滅菌器は何を使えばいいの？

オートクレーブクラス分類『クラスB』『クラスS』『クラスN』とは？



○ 被滅菌物別の滅菌器クラス

被滅菌物	例	クラスB	クラスS	クラスN
固形製品 (包装)	ミラー、鉗子、バー、パット、印象トレイ、ピンセット	●	●	—
固形製品 (非包装)		●	●	●
中空製品 (包装)	ハンドピース、シリンジノズル、バキュームチップ	●	—	—
中空製品 (非包装)		●	●	—
繊維製品 (包装)	ガーゼ、ドレープ、衣類	●	—	—
繊維製品 (非包装)		●	—	—

スποルディングの分類とは？

米国の学者スポルディング博士は感染リスクを基準に3つのカテゴリー分類を行いました。この分類はスポルディング分類と呼ばれ、FDA(アメリカ食品医薬品局)やCDC(アメリカ疾病予防管理センター)をはじめ専門家間で、医療器具の滅菌や消毒のレベルを決定する際の判断に広く用いられています。

○ スポルディングの分類

カテゴリー	定義	処理	歯科器具・物品
クリティカル (高度リスク)	無菌の組織や血管に挿入もしくは皮膚や粘膜を貫通するもの	滅菌	インプラント器材、針などの手術器具 スケーラー、バー、ポイントなど観血的な処置に使用されるもの
セミクリティカル (中等度リスク)	損傷の無い粘膜および創傷のある皮膚に接触するもの	消毒	印象用トレイ、口腔内用ミラー 咬合紙ホルダー、ハンドピース*など
ノンクリティカル (低度リスク)	直接接触しないもしくは損傷の無い皮膚と接触するもの	洗浄 または 消毒	チェアユニット、无影灯、パルスオキシメーター、 血圧計カフ、X線撮影用ヘッドコーン、床面、壁面、テーブルなど

*歯科用ハンドピースはセミクリティカルに分類されているが、厚労省の指針により患者さん毎の「オートクレーブ滅菌」が強く推奨されている。